

2020年12月1日

2020年度 ジュニア・ライフセービング教室助成事業のご案内

～子ども達への水辺の安全教育プログラムの推進事業～

はじめに

今夏は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、海水浴場が開設されない中での諸活動や、開設されても本来の通常監視に至らない状況から、様々な対応が求められました。さらにはジュニア・ライフセービング教室においても、主催者や参加するお子様の安全面を考慮し、中止や縮小の判断をする地域がほとんどとなりました。

日本ライフセービング協会では、今夏開催に至らなかったジュニア・ライフセービング教室につきまして、以下のような主旨・企画として実施いただく活動に対し、日本財団様からの助成対象事業として支援させていただくことになりました。

子どもたちを海にいざなうためにも、皆様方のご理解とご協力をいただきながら、本事業を進めて参りたいと思います。

■防災教育をベースとしたジュニア・ライフセービング教室の全国実施（10か所程度）

これまでジュニア・ライフセービング教室の中で防災教育を実施してきた全国のライフセービングクラブを中心に、下記企画の計画、運営を行う。また実施に留まらず、それらの実施概要やプログラム内容をJLAに報告することで、海辺の活動における防災教育の共有を図る。さらには統一した参加者アンケートを実施し、効果測定と課題抽出を行うことで、教育の質の向上を目指す。

- ① 今夏、ライフジャケット未着用の溺水事故が目立ったことを受け、ライフジャケットの重要性や着用時の「安全姿勢」「グループサバイバル」「助けてサイン」等の周知を図る。
- ② ビーチクリーンとビーチコーミングを通じて、思い出の工作活動を実施することで、海の環境に対する気づきと、より安全な浜辺への意識を高める。
- ③ 海浜活動中の地震、津波、避難のフローを各防災マップより、シミュレーション訓練を実施する。ライフジャケットを着用しての避難の重要性や避難経路、避難場所までの道のりを体験から学ぶことで、防災意識を高める。さらには津波フラッグへの周知を図ることで、海浜活動への安全知識と実践的行動を理解する。
- ④ 浜辺でのビーチラン（ビーチリレーやビーチフラッグス体験等）や、体を動かすレクリエーションを通じて、砂浜で素足になり活動することで得られる爽快感や“走りにくさ”を実感し、親子やお友達同士の親睦を図る。また前段で実施するビーチクリーンの重要性への理解を生む。

※①③に関しては実施を必須とし、②④はライフセービングクラブや開催地域の実状に合わせて実施については選択制とする。

【実施目標】

「ジュニア・ライフセービング教室」を全国10ヶ所で300人を目標に実施します。

【実施対象期間】

本通知後から、2021年3月31日までに実施するプログラムを対象とします。

【支援対象クラブ条件】

- 1) 申請時に、2020年度JLAの第1種もしくは第2種クラブとしての登録を済ませていること。
- 2) 申請書・指導案・報告書などの提出物を期限内に提出できること。
- 3) 助成を受ける加盟クラブは、ジュニアインストラクター、ジュニアアシスタントインストラクター、リーダー資格のいずれかを取得している指導員が指導することが望ましい。該当者がいない場合はそれに準ずる技能・経験がありクラブ代表者の承認を得た者とする。
- 4) ジュニアプログラムの実施に興味のある方を、運営・指導スタッフとして受け入れ体制がとれること。
- 5) 上記の1)～4)および各クラブからの「申請書」と「指導案」の内容を審査し、助成対象を決定させていただきます。

【助成対象範囲】（1クラブあたり開催助成金 合計上限30,000円）

- ① 旅費交通費：指導員、スタッフの交通費
- ② 人件費：指導員1名分@6,000円、スタッフ2名分@3,500円=7,000円
- ③ 物件費：助成対象外。ただし、下記ア～カの物件を助成事業として提供いたします。
 - (ア) ライフジャケット：10着
 - (イ) ジュニア用ラッシュガード：参加者数（原則上限30枚）
 - (ウ) ジュニアテキスト：参加者数（原則上限30冊）
 - (エ) ビーチかるた：1セット
 - (オ) 水辺の安全啓発用クリアファイル：参加者数（原則上限30枚）
 - (カ) 掲出用ポップアップバナー：1セット
- ④ 通信運搬費：器材運搬等
- ⑤ 保険料：参加者への保険代
- ⑥ 賃借料：テント、ハンドマイク等
- ⑦ 雑費：指導員弁当・飲み物代等（参加者への提供分は対象としません）

※助成金対象に関わる支出については、全てに領収書の提出が義務付けられます。

領収書宛名：日本ライフセービング協会

【申請方法】

「申請書」と「指導案」を申請締切日までにJLA事務局までご提出ください。データでのご提出にご協力ください。申請が受理されたクラブに対し、その後の手続きについてご連絡いたします。

●提出先 E-mail：academy@jla.gr.jp

メールの件名：日本ライフセービング協会「日本財団ジュニア助成」係

【申請締切】

2020年12月20日（日） 24時受信分まで

【事業完了報告書の提出】

助成対象のクラブの申請担当者の方に、後日報告書書式をメールで送らせていただきます（またはホームページに掲載）。報告書はデータ提出いただきますようご協力ください。事業報告内容は以下の通り。

1. 日時
2. 場所
3. 参加人数（年齢・職業等）
4. 指導員およびスタッフ名
5. 内容
6. 記録写真データ（メール添付、または CD-ROM にて）
（ア）プログラムの様子、集合写真、助成物件使用中の写真等
（イ）その他の広報関連（新聞掲載のコピーなど）や関係書類
7. 事業総括
8. クラブで実施したアンケートや感想のコピー等
9. 収支決算書（領収書必須）

【事業完了報告書の締切】

事業終了後、1ヶ月以内を目途に JLA 事務局までに完了報告書をご提出下さい。

最終締め切りは 2021年4月5日（月）午前9時までとします。

【その他】

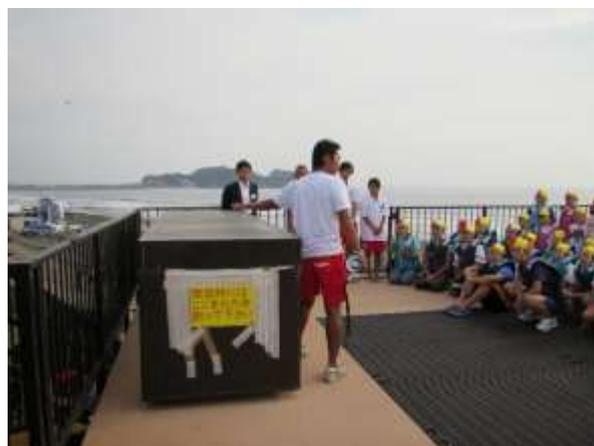
申請等に関わる個人情報は、本事業における連絡業務に使用し、その他の目的では一切使用しません。

【問合せ】

日本ライフセービング協会 事務局

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-1-18 トップスビル 1階

TEL：03-3459-1445 E-mail：academy@jla.gr.jp



津波避難タワーを活用した防災教育例

写真左：ライフセーバーによる津波避難タワーを活用した津波フラッグ掲出のデモンストレーション。

写真右：津波避難タワー上で防災教育を実施。子どもたちはライフジャケットを着用した状態で砂浜から津波避難タワーまでの避難訓練を体験。



ジュニア用ラッシュガードのデザイン案
 ※上記デザインは、変更になる可能性があります。



掲出用ポップアップバナーのイメージ
 ※上記写真は、過去作成実績のあるバナーに
 海と日本プロジェクトのロゴを挿入したもの。



ジュニアライフセービングかるたを、砂浜で遊べる『ビーチかるた』（ビーチフラッグス方式）様に加工します。海が苦手な子でも砂浜で楽しめる種目として、ライフセービングのイベントや、プログラムの確立（名物化）を目指します。ビーチかるたの基本ルールや、安全上の留意点も配布します。

Keep Watch

子どもから目を離さない

家庭用プールでも「離れる」リスクがあります。水辺の事故を防ぐため、必ず大人が目を離さず、手の届く範囲で見守りましょう。

子供だけで遊ばせておくことはもちろん危険です。安心して遊ぶ・学ぶための「目を離さない」ようにしましょう。

溺れる時は、声や行動が聞こえづらく、助けが来ない子どもが、事故の犠牲者に陥ります。

入水している子どもがいる時に、目を離した際の作業、携帯電話操作をすることなどにより、子どもの命を見過ごすことがあってはいけません。

e-Lifesaving ※自分で自分の身を守る方法を学ぶ専用サイト<無料>

※各都道府県の緊急通報センターに、ご登録を依頼いたします。

海と日本プロジェクト

公益財団法人 日本ライフセービング協会

海やプールでおぼれない！

水辺の安全 10ヶ条

水辺に向かう前に

- 危険や危険の種類を知る
泳ぐ前の危険性や水辺の危険性、泳ぐ場所の危険性を確認しましょう。
- 危険な場所を知る
水深が浅い場所でも、岩や木、浅瀬や急流など、危険な場所があります。
- 自分で自分の身を守る
泳ぐ時は、泳ぐ場所や水深を確認し、危険な場所には近づかないようにしましょう。
- 泳ぐのをしっかりとる
泳ぐ時は、泳ぐ場所や水深を確認し、危険な場所には近づかないようにしましょう。
- 泳ぐ場所を確認する
泳ぐ時は、泳ぐ場所や水深を確認し、危険な場所には近づかないようにしましょう。
- 泳ぐ場所を守る
泳ぐ時は、泳ぐ場所や水深を確認し、危険な場所には近づかないようにしましょう。
- 危険な場所を知る
水深が浅い場所でも、岩や木、浅瀬や急流など、危険な場所があります。
- 足の下を踏まない
泳ぐ時は、泳ぐ場所や水深を確認し、危険な場所には近づかないようにしましょう。
- 他人だまされない
泳ぐ時は、泳ぐ場所や水深を確認し、危険な場所には近づかないようにしましょう。
- 泳ぐ場所を確認する
泳ぐ時は、泳ぐ場所や水深を確認し、危険な場所には近づかないようにしましょう。
- 泳ぐ場所を守る
泳ぐ時は、泳ぐ場所や水深を確認し、危険な場所には近づかないようにしましょう。
- Keep Watch目を離さない
Keep Watch目を離さない

JAPAN LIFESAVING ASSOCIATION

水辺の安全啓発用の A4 サイズのクリアファイルです。水辺の安全 10ヶ条を JLA オリジナルのアイコンで分かりやすくまとめています。